

## 働く女性をファッションで応援する

PR

### エニーズのオーダーメイドスーツ

株式会社エニーズは、2000年に設立されたオーダーファッションブランド企業。女性のスーツを中心としたパターンオーダーによるオーダーメイドスーツを企画・製造、販売している。代表取締役の川崎昌子氏は、働く女性のニーズを取り入れ、ファッション性と機能性に優れた商品開発に取り組んでいる。5人のシングルマザーでスタートした同社も、現在では、資本金1億3700万円に達し、インターネットでの販売だけではなく大阪や東京に店舗を持つまでに成長した。

#### ●女性の感性を発揮できる

##### 企業を目指して創業●

エニーズが創業したきっかけは「女性の感性が十分に発揮できる職業を自分たちで創り出したい」という発想にあったという。創業メンバーで現在は代表取締役を務める川崎昌子氏は、大手企業で経理や秘書などの仕事を経験後に結婚退職し、専業主婦になった後、30代で社会に戻り英会話スクールを開業する。その後、ニューヨークで女性がオーダーサロンでスーツを注文する姿に触発され、仲間たちとエニーズを創業した。

「目標は、女性向けのスーツ業界の中で、パターンオーダーの認知を上げ、より多くの働く女性たちが、自分のスタイルに合ったエニーズのスーツを着てキャリアを積んでいくことです。女性向けのスーツは、小っちゃなおじさんみたいなリクルートスーツか、高級ブランドものスーツ、あるいは夜の店に似合いそ

うな派手なものを中心で、30~40代のキャリアを積んでいる女性に似合うデザインやサイズがない、という現状がありました。そのニーズに応えるビジネスは、必ず成功するという確信があり、エニーズを起業しました」と川崎氏はきっかけを話す。

エニーズのスーツは、インターネットでのオーダーが中心で、CHARALIST(キャラリスト)というブランドでサイトを展開している。スーツのオーダーは、主に3ステップに分かれている。最初のデザインオーダーでは、提供されるプライベートブランドの中から、好みや目的に合ったデザインを選ぶ。女性用のスーツでは、現在3つのブランドが展開されている。デザインを選んだら、次に生地を選ぶ。スーツの価格は、主にオーダーする生地によって変わる。最後にサイズを選ぶと約2~3週間で完成品が届けられる。実際にサイトで注文を行う



川崎昌子 代表取締役

と、デザインの選択では、ボタンやポケット、バックデザインにステッチなど、一つのスーツで多様な組み合わせを自由に選べるようになっている。サイズも、号数だけではなく、バストや着丈に袖丈、肩幅や半胴まで、細かい補正が指定できる。

「既製のスーツでは、上下で同じ号数を選ばなければなりません。エニーズのパターンオーダースーツならば、自分の体形に合わせて上下で異なる号数を指定できます。また、スカートやパンツもウエストや丈の補正を自由に指定できるので、あらゆる体形にフィットするオーダーが可能になります」

#### ●顧客のニーズを常に聞き新たな商品開発や市場の開拓に取り組んでいく●

オーダーメイドファッションという分野に向けてチャレンジを続けてきた同社では、常に顧客ニーズを敏感に受け止め、新商品への企画へと生かしている。

「スーツを販売したお客さまから、インターへのニーズが高いことを知り、パターンオーダー製品への展開を計画しています。また、名刺入れという声もありました。ビジネスの最前線で働く女性の多くは、一日何十枚もの名刺を交換します。そのときに、たくさん入っておしゃれな名刺入れというものが、意外とないのです。こうしたお客さまからの声を聞くことで、新製品の開発に取り組んでいきます」

オーダーメイドといえば紳士服が中心で、職人の領域となっていた。こうした既存の概念や価値観を打ち破り、社会に進出した働く女性をサポートするために、同社は婦人服のオーダーファッションを自社で開発する体制を整えてきた。

「私たちのビジネスは、主に口コミで広がってきました。先日『エニーズのスーツが着られることを夢見てがんばっています』という電子メールをいただきました。今の20代の働く女性たちが、先輩たちのスーツ姿をみて、あこがれから目標になっていくことで、キャリア女性の力になれると信じています」